

こうふ町 議会だより

町 勢

世帯数/1,166世帯
人 口/3,743人
(平成19年4月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ



(米沢小学校入学式)

希望にあふれて

安心して暮らせるまちづくりを (平成19年度予算) ……	2 P
予算の審議 ……	6 P
いっぱん質問 町政を問う ……	12 P
企業誘致調査特別委員会 ……	16 P
私もひと言 ……	18 P

安心して暮らせる まちづくりを

19年度予算可決

一般会計

29億1000万円

15.4%減額

平成19年3月定例議会は3月12日から23日までの12日の日程で開催されました。本年度の一般会計及び特別会計予算・条例の制定、改正等、51議案が上程され、慎重審議の結果原案通り可決しました。

町民の方に議会への関心を持っていただくため、本町始まって以来、初の休日議会を開催し、4名の議員が一般質問に立ち、活発な論議が交わされました。

平成19年度予算は、更なる厳しい財政状況を踏まえ、職員自ら給与削減を基本とし、事業の必要性や効果を検討すると共に、公共料金の見直しについても検討しながら町民主導のまちづくりへ、町民意識の変革を期待し「小さくても元気で明るい輝きのあるまちづくり」に向け編成されました。

本年も昨年以上に税収の減少・国の改革による主たる財源の減額により新規事業を抑制し町民の視点に立った継続事業中心の厳しい予算編成です。

平成19年度一般会計総額29億1000万円（前年度対比84.6%減額）主な減額は総務費50.5%（企業誘致対策費）です。特別会計は21億7810万円、一般会計と合わせ、合計50億8810万円（90.4%の減額）町民1人当たり135万円、世帯当り434万円の予算です。

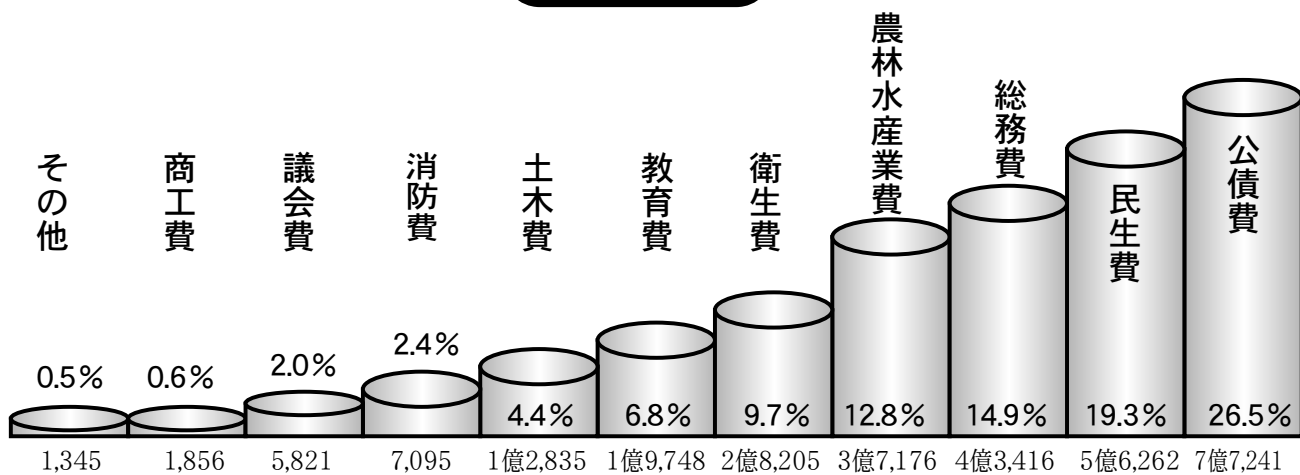
主な歳入は

◎町税	8億8984万円	前年対比(100%)
固定資産税	7億6886万円	(96%)
(固定資産税のうち中国電力分)	6億4166万円	(94%)
たばこ税	1007万円	(99%)
◎地方交付税	11億7000万円	(106%)
◎諸収入	1億2284万円	(103%)

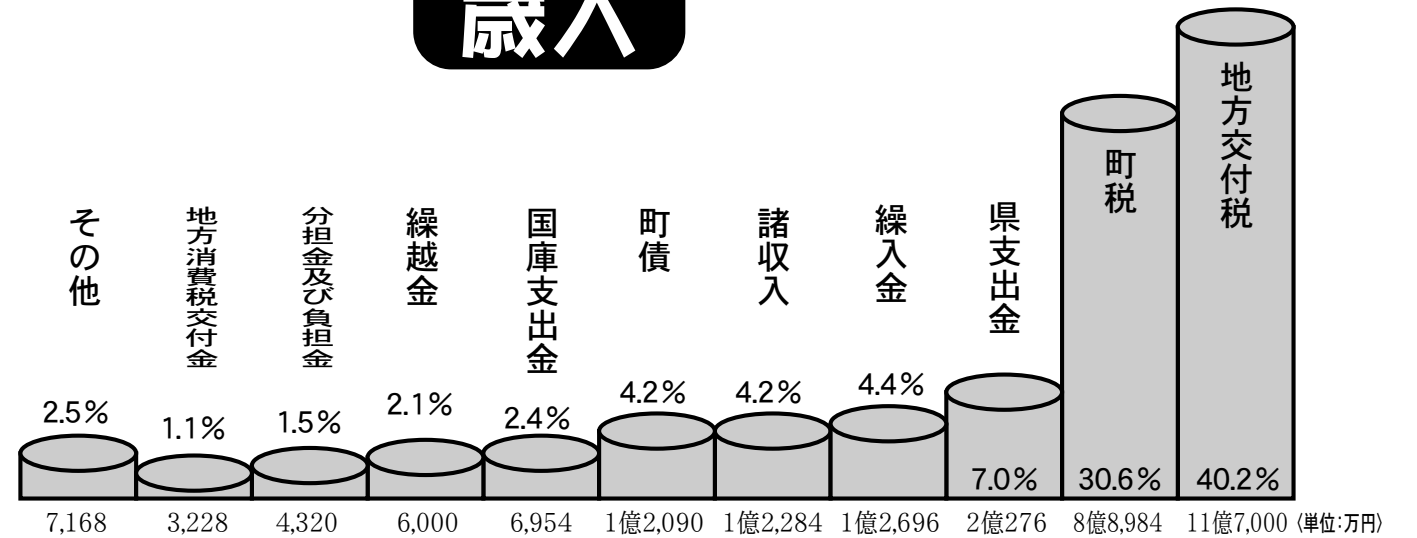
主な歳出は

◎総務費	4億3416万円
企業誘致対策費	2124万円
過疎バス対策費	1332万円
企画費	1779万円
参議院議員選挙費	885万円
◎公債費	7億7241万円
◎民生費	5億6262万円
老人福祉費	1億2083万円
介護老人保健施設費	7000万円
◎農林水産業費	3億7176万円
農業委員会費	1587万円
農業振興費	9375万円
◎衛生費	2億8205万円
塵芥処理費	1億5922万円
◎教育費	1億9748万円
学校管理費（小・中学校）	2845万円
公民館費	2137万円
◎土木費	1億2835万円
道路維持費	6818万円
(うち除雪委託料)	1900万円

歳出



歳入



特別会計 (15会計)

総額 21億7,810万円

前年 (21億8,880万円)

1,070万円減額予算

国民健康保険 (事業勘定)

ついに国の指定外れる

予算総額3億4736万円、対前年比1651万円の増額です。
 一般会計より2200万円繰入して対応します。
 平成16年度から3年間医療費が国の基準の地域差指数1・14を上回っていました。本年度は1・038となり外れました。

県の指数は1・1であり、クリアしていますが、長年国、県の指定を受けていて検討の結果準指定として更に医療費の削減に努力するように、保険・医療・福祉の連携を密にして、集落、事業所に出かけ健康づくりの取り組みを、町民ぐるみで進めます。



いきいき運動教室 (本五)

国保 (施設勘定)

診療所の充実へ

予算総額2億9573万円対前年比8074万円の増額です。

本町の江尾診療所は、平成16年からスタートした糖尿病外来及び糖尿病予防対策は町内外で高い評価を頂いております。

今後鳥取大学付属病院に要請し、歯科医の増員の要請を図り、又診療所の運営上嘱託看護士、医療助士の採用を図る。

老健施設「あやめ」

借入金返済3461万円を計上し、現在は順調な運営をしています。が、地域の中心的中間施設として、日野病院、江尾診療所と連携を密にし、評判の良い施設になるよう図って行かなければならない。



診療所窓口

特別会計

老健施設「あやめ」利用状況

	入所	短期	通所	予防
6月	21	6	19	0
7月	26	3	24	0
8月	31	8	25	1
9月	33	14	23	7
10月	39	9	28	6
11月	47	14	31	9
12月	53	11	31	10
1月	55	8	35	7
2月	63	14	36	16
3月	58	18	35	18

※入所の数字は毎月末の数値です。

江尾診療所利用状況

年度	医 科	
	年間 診療件数 (件)	1日平均の 患者数 (人)
12	12,893	53.1
13	15,282	63.1
14	13,909	58.3
15	15,099	59.9
16	15,452	61.7
17	16,378	64.5
18	16,465	65.1

歯科口腔外科

年度	歯科口腔外科	
	年間 診療件数 (件)	1日平均の 患者数 (人)
14	2,042	32.9
15	6,593	30.5
16	6,877	30.4
17	7,612	33.5
18	8,704	38.2

(単位 千円)

会計区分	19年度予算	左の内一般会計 からの繰入額
住宅新築資金等貸付事業	3,729	300
国民健康保険(事業勘定)	347,366	22,000
国民健康保険(施設勘定)	295,731	41,436
老人保健	684,622	55,825
介護保険事業(保険事業勘定)	405,109	60,911
介護保険事業(サービス事業勘定)	1,664	
介護老人保健施設	34,614	
笠原市民農園	1,074	1,064
簡易水道事業	136,637	44,427
農業集落排水事業	192,637	81,730
林業集落排水事業	5,606	4,765
特定環境保全公共下水道事業	61,511	24,815
江尾財産区	4,000	
神奈川地区財産区	1,904	
米沢財産区	1,900	
合 計	2,178,104	337,273



宮市地区集落排水工事

予算の審議

一般会計

会期中3月13日・14日・15日に予算特別委員会を開催し、審議したもので、主なものをあげてみました。

今年度の予算

Q 昨年度に対して今年度は。

A 一般会計29億1000万円、前年度当初比15・4%減の緊縮予算、特別会計は21億7800万円、前年度当初比9・6%減額予算です。

特別職は

Q 町長、助役、教育長の報酬は。

A 町長20%、助役・教育長12%カット。

固定資産税は

Q 中国電力株の固定資産税額は。

A 中国電力分は6億4166万円、前年比3760万円の減です。

過疎バスの対策は

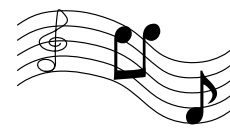
Q 効率的なバス運行の検討は。

A 各集落の乗車状況を調査し効率化を図り、今後、小学校統合もあり、プロジェクトを設けて検討する。

「町民の歌」の募集状況は

Q 江府町を後世に語り継ぐ町民の歌詞は。

A 1月末期限で応募受付をし、応募総数137件で町内92、町外45の歌詞が集まった。今後、策定委員会で協議する。



コミュニティ助成事業は

Q この助成事業の対象は。

A 宝くじの100%助成が受けられる制度で助成額は100万円以上250万円以下で19年度は6集落へ助成を行い集落の活性化を図る。

企業誘致対策は

Q 厳しい時代だが、町の活性化は企業誘致だと思いが対策は。

A 県大阪事務所の協力を得て、町長を始め一丸となってPRに努力する。

情報処理費は

Q 電算処理費のコスト削減は。

A 情報処理システムの見直しや統合によりコスト削減を図り、事務処理の効率化と更なる住民サービスの向上を図る。

納税組合報償金は

Q 納税方法と組合奨励金はどうなっているか。

A 納税は振替と組合を通じての割合は半々です。奨励金は平成18年度から納付額の2%と1世帯当たり2000円です。



社会福祉協議会のあり方

Q 社会福祉協議会の今後は。

A サービスの内容、社協としてのあり方を、抜本的に検討したい。

町農業公社は

Q 農業公社の運営は。

A 農業公社の役割は益々重要であり、更に健全な公社になるよう努力する。

学校給食の地産地消は

Q 学校給食での地産地消の取組みは。

A 安心・安全な給食が提供できるように努める。

消防団員確保は

Q 団員確保対策は。

A 地元事業所、企業等にお願しし定員確保に努力する。

「江尾十七夜」は

Q 伝統行事「江尾十七夜」の実施は。

A 特に本年は、県指定無形文化財で平成18年度文化庁地域文化功労賞を受賞した「こたいち踊り」を中心に、「観せる祭り」として誘客を図ります。

江府町の観光は

Q 観光客を呼び込む対策は。

A 豊かな自然に囲まれた奥大山地域を観光の拠点として、観光客の誘致を図ると共に、豊かな自然を全国に情報発信をします。

中山間地直接支払は

Q 中山間地直接支払制度の指導は。

A 17年度から始まった、中山間地直接支払制度を生かした集落営農を今後とも指導する。

日輪閣・山村開発センターの活用は

Q 両施設の維持管理は。

A 有効的な活用を図り適切な管理に努めます。

地籍調査は

Q 本年度の地籍調査地区は。

A 昨年に引き続き武庫地区です。

図書館の充実

Q 図書システムが導入されたが。

A 魅力ある図書館づくりに努めます。

野菜産地化は

Q 野菜産地育成は。

A 加工用キャベツ産地化事業等積極的に取組む。



江尾十七夜

次頁に続く

特別会計

医療費の減少は

Q 平成16年度から69歳以下の国の地域差指数1・14を上回って3年間国の指定を受けていたが、適正化は図られたか。

A 医療費削減のため検診、健康講座など予防対策に積極的に取り組んで、本年度は1・038となり、国の指定は外れましたが、県の指定数値は1・1であり、数値は低い訳ですが長年、県指定、国指定を受けていた状況で更に努力するように指示を受けています。

ヘルスアップ事業を通して、鳥取大学、名古屋大学との連携のもと、日本一の健康まちづくりをすすめます。

待ち時間解消は

Q 受診者の増加に伴い待ち時間が長いとの不満が出ているが、どのように解消を図られるのか。

A 特に歯科口腔外科では予約診療制をとっていますが、予約時間オーバーし、受診者に

迷惑をかけております。鳥大医学部歯科口腔外科に歯科医師の配置要請を図っています。

今年度は人的体制の充実を図ります。

診療所に専任事務の設置すると共に、必要と考える嘱託看護師、医療助手の採用を行い、更に充実した地域医療体制の充実に努めます。

介護保険料アップは

Q 平成18年度からアップしているようですがどうしてでしょうか。

A 老健施設「あやめ」が出来て町内の皆さんが多く入所利用されているのも、大きな要因の一つです。最終は決算後決定します。

町水道整備と料金は

Q 安心、安全な町水道の整備状況と水道料金は。

A 現在残っている深山口集落は町水道は出来ていないが、検討していく。

公共料金について、審議会を立ち上げ、9月頃答申をもらい、平成20年頃には他町より水道料金は安いので、見直す必要があると考えています。

今後の集落排水事業の予定は

Q 平成19年度から宮市地区が、工事に着手していきますが、今後の集落排水事業の予定と料金については。

A 美用、小原集落については、平成19年度調査、平成20年着手の予定ですが、協賛中です。料金については、公共料金審議会にて検討します。

笠原市民農園の指定管理者は

Q 現在休館中であるが、今後の運営はどう考えているか。

A 笠原市民農園は、現在サントリーが工場建設のため、休館中ではありますが、指定管理者制度についても検討しています。業者から貸し出しの要望があれば、貸し出す用意もあります。



診療所待合室



休館中の笠原ファーム

一般会計

予算特別委員会

参考意見

平成19年度一般会計予算総額29億1000万円は、対前年度当初比15・4%減の緊縮予算であり、一層の行財政運営の簡素化、適正化を図り特別職・一般職の人員費削減をはじめとする将来の財政健全化と活性化を目指すものである。

特に、本年の予算は税収の減少並びに国の改革による主たる財源の減額により、新規事業を抑制し、あくまで町民の視点に立ち継続事業及びソフト事業が中心であります。一丸となってこの局面を乗り越えなければなりません。

誘致企業につきましては、来春の創業開始を目指し、サントリー天然水(株)奥大山ブナの森工場の建設が行われる。財政健

全化のために今後とも産業振興に努められたい。

また、町民の生活環境整備は、人口流出を防ぐために必要であり財政の許す限り推進して頂きたい。厳しい状況を乗り越えるために、町民の負担も増加することが予想されます。行政・議会は町民の奉仕者としてお互い情報を共有し、積極的な情報公開を行い、町の活性化、発展のため一層努力することが必要である。

総務課

(1) 19年度の給料及び手当を町長20%、助役・教育長12%、一般職7%とそれぞれカットされ、厳しい財政を乗り越える努力と覚悟がうかがえるが、指揮の低下を招かないよう努力されたい。



来春操業サントリー奥大山ブナの森工場

- (2) 人間ドッグの受診について可能な限り日野病院を利用されたい。
- (3) 日輪閣・山村開発センターの利活用を検討されたい。
- (4) 消防団員の確保に努力されたい。

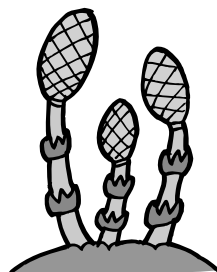
企画財政課

- (1) 過疎バス対策について、小学校統合を踏まえ、利便性、効率性などの抜本的対策を検討されたい。
- (2) 企業誘致に対して専門的職員の配置など検討頂きたい。

- (3) 神戸魚崎との交流事業を検討されたい。
- (4) 情報通信関係において、近隣の町村と格差が生じないよう方策を検討されたい。
- (5) 奥大山地域を観光の拠点として情報発信し観光の誘致を図られたい。

町民課

- (1) 適切な課税事務と納税の完納に努められたい。



一般会計



通所リハビリテーション（あやめ）

福祉保健課

(1) 社会福祉協議会のあり方について、地域福祉の向上を図る上から今後の運営について検討されたい。

(2) 介護老人保健施設「あやめ」はおおむね、当初の計画どおり進んでいるが、今後、さらに日野病院、江尾診療所等との連携を図り円滑な運営と充実したサービスを提供できるよう努められたい。

A 保健・医療・福祉部門が一体となつて、予防に重点を置いた健康対策が推進され、医療費削減に効果が現れてきている。今後も一層努力されたい。

農林課

(1) 農業開発公社の役割は、益々重要であり更に健全な公社になるよう努力されたい。

(2) 中山間地直接支払制度を生かした集落営農の指導を推進されたい。

(3) 野菜産地育成を積極的に進められたい。

建設課

(1) 高規格道路の整備促進について一層努力されたい。

(2) 西部広域行政管理組合のエコスラグセンター

(1) **教育委員会**

図書システムの導入



図書館で情報収集

等、施設の維持管理費の削減に努め、負担金の軽減を図られたい。又、施設の状況、負担金の内容を十分把握し情報提供されたい。

(2) 地産地消を推進しながら、安心・安全な学校給食が提供できるよう務められたい。

により管理運営が図られるが、魅力ある図書館づくりに努められたい。

特別会計

**住宅新築資金等貸付
事業特別会計**

貸付金の返済について、時効の中断を図るとともに、徴収の努力をされた。

**国民健康保険特別
会計（事業勘定）**

厚生労働省の地域差指数（1・14）が医療費の適正化の努力により1・04となったが、今後一層原因の究明等をされ、予防医学の成果を確認されたい。現在、武地医師を中心とした予防医療が推進されているが、この確立により、日本一の健康の町となるよう期待する。

**国民健康保険特別
会計（施設勘定）**

診察までの待ち時間の解消を図りたい。また、医師の2人体制についても検討されているようであるが一層推進されたい。

老人保健特別会計

介護保険事業特別会計に於いて地域包括支援センターの充実を図り、住民慣れた地域で自分らしく暮らすための拠り所となるよう取り組んで頂きたい。

**介護老人保健施設
特別会計**

老健施設あやめが開所から8ヶ月が経過し、少しずつ軌道に乗ってきた。この施設が自立りハビリの中心施設になるよう研修等充分されて、利用希望者が益々増加する施設になるよう取り組まされたい。

**農業集落排水事業
特別会計**

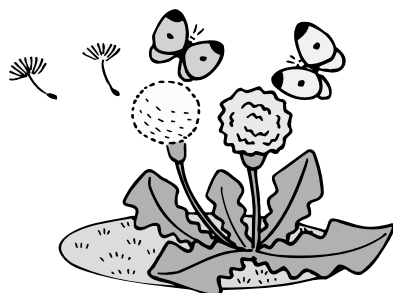
厳しい財政状況であるが、未整備地区の整備促進を図られたい。



いきいき運動教室（宮市）

**簡易水道事業
特別会計**

町内全域が町営の水道となるよう整備促進されたい。
他町と比較して料金が安いということであるが、起債償還額が多いことから、料金改定を検討され、経営改善を図られたい。



一般質問



保育園児のひな祭り（お茶会）

合予定の管内小学校にも、影響があると考えられる。町としては、出生率激減の大きな要因と、今後の対策についてどのように考えているのか伺う。

問	出生率激減の要因と対策は日本全体のことであり秘策なし
答	



質問 子供の出生率が激減している。この状況が続くことになれば、平成21年春に統

町長答弁 税収が減収するのに伴い、指数が年々低下しております。江府町の税源

問	財政力指数の改善は
答	誘致企業等の税収に期待する



の大きな柱となっており、ます中国電力の固定資産税は、毎年約6%、3、4千万円の減収となっており、今後においても年々減少するものと考えます。しかし、昨年より稼働いたしました氷工場奥大山ファクトリーや19年度建設予定のサントリー奥大山ブナの森工場など、

財政運営健全化対策は

日野尾 優

問	経常収支比率の改善策は
答	行政改革により経常経費の削減を図る

質問 年々増加傾向であり、弾力性が無くなっておりますが、改善策について町長に伺う。



氷工場奥大山ファクトリー

質問 平成18年度から地方債許可制度に移行したことに伴う新しい指標で

問	公債費比率の目標設定は
答	適正化を図る

改善策は、引き続き行政改革により経常経費の削減を図りながら、公共料金の見直し等もおこない、財源の確保に努めて参りたいと思います。

近年の景気低迷等により県内町村においても上昇傾向にあります。この主要要因として、過去に事業を行ってきた公債費の増加であり、歳入の固定資産税の減少と地方交付税の減少があります。改善策は、引き続き行政改革により経常経費の削減を図りながら、公共料金の見直し等もおこない、財源の確保に努めて参りたいと思います。

町長答弁 経常収支比率は公債費、人件費、維持管理費、扶助費など経常経費に充当できる町税や地方交付税などの経常一般財源の割合を示すものであり、財政の弾力性を示す指標としています。

すが、県下町村平均は17・2%であり江府町の比率は15年〜17年の3ヶ年平均は15・6%で県下で低い方ですが、適正化計画を作成し目標設定したかどうか町長に伺う。

少子化対策と保育園の建て替えは

越峠 恵美子

問	出生率の激減は大きな問題であり、厳粛に受け止めているが、本町だけではなく日本全体の問題と認識しています。
答	

町長答弁 出生率の激減は大きな問題であり、厳粛に受け止めているが、本町だけではなく日本全体の問題と認識しています。

計画が、計画で終わらない為に今後どのように指導していかれるのか伺う。

町長答弁 平成16年3月に次世代育成行動計画を策定するため調査し、その中で「子供と過ごす時間が不十分」とか「子供をしっかりと育てるような気がする」との答えが40%近くあり気軽に相談できるよう保育園に「子育て支援センター」を設け昨年度からは毎週1回未就園児をはじめ保護者への相談を行うとともに保育士と保健師が連携して家庭訪問を行い、保護者の子育てへのアドバイスを行っているところです。

質問 少子化対策と若者定住対策で、中学生まで医療費を無料にした自治体もある。

問	中学生まで医療費の無料化を現在の財政では不可能
答	

質問 少子化対策と若者定住対策で、中学生まで医療費を無料にした自治体もある。

町長答弁 現在、県の制度に基づき行っていますが、県も平成20年4月施行を目指し見直しを検討中です。本町の財政状況では中学生までの医療費を町単独ですべて無料にすることは実現不可能です。

ける親のニーズも時代とともに変わり、また幼児期は人間形成にも大切な時期であると言われる。機能的にも十分とは言えないし、補修も年々増えている。建て替えはいつ頃を目途に考えているのか伺う。

町長答弁 昭和54年に完成しておりますが、老朽化が進んでいますが保育現場では経費削減を図りながら多様化する子供に対しソフト面での最大の努力をしています。行政改革をはじめ学校統合などの整備が最重要課題であり、現時点で保育園の建て替えは不可能です。

保育所の建設補助金はないし、効率のよい起債も現在ありません。その都度、修理をしながら対応していきます。

問	次世代育成支援行動計画の指導は
答	子育て支援センターで相談を行う

質問 子育てに対する実態調査をしたことがあるか、次世代育成支援行動

問	保育園の建て替えはいつ
答	小学校統合による整備が優先

質問 築30年になる保育園は老朽化もひどく、預

一般質問

質問 国の三位一体の行財政改革、地方分権が進む中で様々な問題が新たに起こっている。その一番が「地域格差」の広がります。

国の緊縮財政の中、権限委譲に合わせて財源委譲の遅れも相まって、地域の崩壊が始まっている。それは、国の責任だけではなく、地域の国に対しての甘えが出てきている。

債権団体「夕張市」に続く市町村はいくらでもありと考える。

平成19年度予算は、大幅緊縮財政で取り組むわけですが、「お金がなけ

問	制度の活用は
答	プロジェクト立ち上げ



質問 12月議会はゴミ処理対策について質問し、今後取り組んでいくとの答弁でありました。ゴミ焼却場の起債償還が終わる平成24年をめどに次のステップに移れるよう、今年度より具体的に期限とプランを作成し取り組んでいくべきと考えるが、現在の状況と今後の計画を伺う。

問	ゴミ問題はどうか
答	減量化に取り組む



自然を活かした観光

地域再生制度の活用と取り組みについて

川上 富夫

れば知恵と、汗をかかなければならない」

平成17年度から「地域再生制度」に取り組んで成果を上げている自治体が810件もある。

魅力ある地方に生まれ変わるよう地方独自のプロジェクトを自ら考え、前向きに取り組む地方公共団体に対し、地方交付

税等の、支援措置が有るようだが、当町の取り組みについて伺う。

町長答弁

やる気のある地方が事由に独自の施策を展開する事により、「魅力ある地方」に生まれ変わるよう、「頑張る地域応援プログラム」が公表にな



町民の足バスについて考える

りました。

江府町としては、本年度からこの制度も使いながら5つのプロジェクトを立ち上げて取り組んで行く考えです。

1. 観光プロジェクト。自然環境保全を含め、奥大山を中心に検討する。
2. バス対策プロジェクト。平成21年の小学校統合に合わせて、町民バス運

行の検討。

3. 情報に関するプロジェクト。情報過疎にならないよう対策を講じる。
4. 企業誘致プロジェクト。サントリー水工場誘致と更に新たな企業誘致の取り組み。
5. 学校統合後の公共施設利用に関するプロジェクト。具体的な活用について取り組みます。

質問 現在エバーランド奥大山は江府町地域振興株式会社を指定管理者としている。しかし近年は全国的にスキー場経営が難しい状況下で、尚且つ、今年の暖冬の影響による赤字が予想される。現在江府町の財政は大変厳しい状況にあり、江府町地域振興株式会社に赤字が生じた場合は町自身の財政を揺るがしかねない危険もある。細かい数字は別として、おおよそどれ位の赤字が出そうなのか



ゲレンデからみたエバーランド奥大山

問	エバーランドはどうか
答	指定管理者の検討を考える

町長答弁

法の改正により指定管理者制度の導入にあたり18年9月から21年3月31日の間指定管理者「江府町地域振興株式会社」に指名した。

示して頂くとともに、この機会に、大山周辺の観光産業を総合的にプロデュースする力のある民間企業に委託することを検討すべきではないか町長の考えを伺う。

設立当初は索道事業を基幹収入として順調にすすんでいた。しかしながら、近年の雪不足の影響又豪雪によるスキー、ボーター客の各ゲレンデへの分散化等、厳しい状況である。本年は4000万円の赤字が予想されます。このような状況を考え、今後の方向について検討段階であり、指定管理者につきましても同じであります。

ゴミ処理対策について
エバーランド奥大山の委託について
上原 二郎

町長答弁

人口は減少している中ゴミは増加している。ゴミの分別の種類を増やし、ゴミのリサイクル量も増やしながらか減量化を図る必要を考えている。

可燃ゴミにつきましては2割が生ゴミ、5割が紙類となっている。不燃ゴミについてもプラスチック系の分別の検討を行い、減量化を進めたい。

ゴミ焼却処理施設は25年が耐用年数となっており、早急に具体的な計画を行う考えである。環境月間の6月に、一斉清掃など環境美化への機運を高揚したい。

議員提出議案

江府町議会委員会 条例の一部を改正 する条例

地方自治法の改正に伴い、委員会条例第6条の委員の選任についてただし書きを追加し、閉会中において、補欠選挙により当選した議員は、議長が指名することができることになりました。
平成19年4月1日から施行となります。

江府町議会議員の 報酬及び費用弁償 等に関する条例の 一部を改正する条例

平成19年度の議員報酬を10パーセント削減することを全会一致で可決しました。削減後の報酬月

職名	報酬月額
議長	277,200円
副議長	206,100円
委員長	198,000円
議員	193,500円

額は、次のとおりです。
平成19年4月1日から施行となります。

江府町議会会議規則 の一部を改正する 規則

地方自治法の改正に伴い委員会が議案を提出できるようなりました。
平成19年4月1日から施行となります。

第6回 企業誘致調査特別委員会

全体イメージ



工場建設計画予定は

(サントリー)

来春操業に向け、4月から第二期工事に向け再開。現在1号井戸と3号井戸は完了。今後4号井戸も掘削予定(予備)

今年の秋には完成して試験操業を開始。

雪室の設置

標高が高く降雪が多いので、雪室を設置して氷温貯蔵を行う。

環境保全の対策は

森林環境保全のため鳥取県共生の森も検討する。

奥大山ブナの森配送センターの概要(日本通運)

4月から配送センター建設・倉庫棟は10月完成予定。

輸送想定台数(24時間対応型輸送)

夏場 50〜60台
冬場 30〜40台

雇用は

夏に募集、秋に採用、採用後は生産開始に向けた教育実施

業務内容は

一般事務(3直交代)

倉庫内作業(フォークリフトオペレーター)

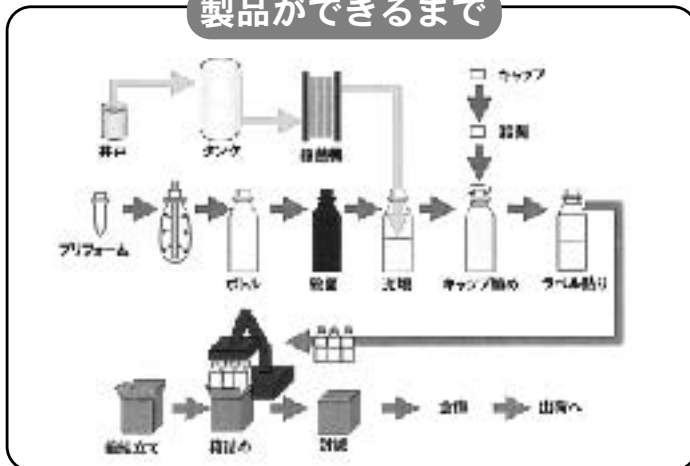
運転者(トレーラーロードライバー) 中長距離乗務設備の監視、点検等

3直交代勤務

笠原工業団地の環境保全に関する協定書(案)の検討

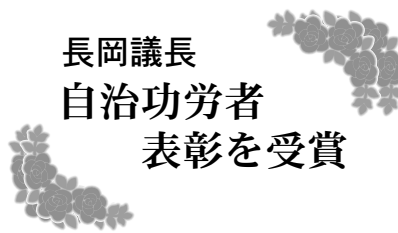
笠原地域周辺環境モニタリング委員会(仮称)の設置についての検討

製品ができるまで



平成19年2月21日、長岡第一議長が、鳥取県町村議会議長会から自治功労者表彰を受賞されました。

長岡議長は、町村議会議員として13年以上在職し、議会活動に尽力され、その功績が認められ受賞されました。



あなたから出された 陳情の結果

趣旨採択と
しました

- ▽労働法制の拡充の意見書採択を求める陳情
鳥取市西町三丁目
国民春闘共闘鳥取県東部地区懇談会
代表理事 田中 暁
- ▽WTO・FTA交渉に関する陳情書
「食とみどり・水を守る鳥取県労農市民会議」
議長 鎌谷広治
(他 一名)
- ▽「現行保育制度の堅持・拡充」「保育所最低基準の抜本的改善」「保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額」に関する意見書提出を求める陳情書
東伯郡湯梨浜町泊七一一
鳥取の保育を考える会
会長 石井由加利

不採択と
しました

- ▽公共サービスの安易な民間開放に反対し、国民生活の「安心・安全」の確立を求める陳情
鳥取市西町三丁目
鳥取県国家公務員労働組合共闘会議
議長 大西真悟
- ▽「憲法改正手続き法案」の慎重審議を求める陳情
米子市目久美町三一の三
鳥取県西部地区革新懇話会
佐々木康子

あなたも
議会を傍聴して
見ませんか
詳しくは
議会事務局へ

第3回臨時会



エパーランド奥大山

平成19年3月30日に臨時会を開催しました。

提案は、江府町地域振興株式会社への資金借り入れに伴う金融機関に対する損失補償するため10年間で5800万の債務負担を設定するもので、意見はいろいろありましたが、全会一致で可決しました。

ひょうご



本三 富田美智子

夢を持つ

りました。つい最近、将来の夢を子どもたちが楽しくおしゃべりするのを聞く機会がありました。子どもたちのおしゃべりに心惹かれ、次のような一文を作りました。

夢

大きくなったら
パティシエになりたい
れみさんのはずんだ声
わたしも・・・
のぞみさんが重なる
わたしはお母さんのように
看護師になりたい
えみさんがつぶやく
わたしは水泳の先生
そうかあ、あやえさんは
選手ではなく先生なんだ
強い夢はきつと叶うって
みんなの夢が叶えられる日
を
楽しみに楽しみに待っているよ
子どもたちが夢を持ち、その夢の実現を見守ることのできる大人でありたいと思います。

この記事は私の体験と重な



新道 石原 忠哉

だあーもで やらいや

「小さくても元気で明るい輝きのあるまちづくり」を目標に、町長の発想で「まちづくり推進委員会」が発足、参画させて頂き、多くの方々の貴重な御意見・批判を伺いながら取りまとめがようやく終り、これからの礎にして下さい。今迄とは違うんだという意識改革が前提で、他人事ではなく、住民参画型のまちづくりが必要かと思えます。二年余りの間、考えさせられる課題が多くありました。そのなかで、私の大切にしている訓話、

良く耳にしておられると思いますが、非常に意味深長な「三惚れ」、を提言させて頂き、一考を願ひ、目線が変わりますと、広く楽しく見えて来ると思います。

土地（地域）、わが町を良く理解・把握して頂き、有るもの・足りないもの等、又地産地消・地元を大切になど、何故、どこから出たんでしようか：

職業（仕事）、各自それぞれの職業役職等社会生活の役割・責任分担で、生活をされております。例えば夕張市のようにならない様、めこぼしなく監視して頂くのは議員さんの義務でもあると思います。私も商売やいろいろな役をさせて頂いて来ましたが、心にかけていたお陰で、今の私があったと考えています。

妻・夫（家族） 申すまでもなく原点です。

以上三点を、一つの話題にしてこれからの町づくりの糧にして頂ければ幸いです。

あとがき

2007年度がスタートしました。企業、官庁学校それぞれ入社、入学等新年度が始まり、4月は新たな夢や目標に向う人も多いでしょう。

知事選、県議選は終わりました。少子高齢化の中、福祉と医療環境の充実、農林業、商工業の振興、雇用対策等、地域経済停滞を解消すべく努力を切に願うものです。

さて、議会の活性化と町民に議会への関心を持つてもらうため、3月定例議会は一般質問を初めて日曜日に開催しました。傍聴者は11名でした。今後とも町政発展のため多くの町民皆様の傍聴を熱望します。

日野尾 優

議会広報調査特別委員会

- 委員長 池田成弘
- 副委員長 川上富夫
- 委員 田中幹啓
- 委員 日野尾優
- 委員 長岡邦一